

平成25年11月18日

玄海町立小中学校基本構想等検討委員会 学校運営作業部会（#4）

1. 開会
2. 協議
  - (1)制服について
  - (2)校歌作成について
3. 次回会議内容と日程  
平成26年1月 日（ ） 19時00分～20時30分
5. 閉会

## 2. 協議

### (1) 制服について

① 検討委員会の仮決定：全学年に導入

② 第 21 回(10/21)検討委員会での意見

(意見) 制服がいいという方、なじみがないという方、両方いらっしゃる。金額的なメリット、初期費用がどのくらいかかるのかも気になるところではないか。基本的に中に着るシャツ・ポロシャツ等は2着程度必要。ズボン・ブレザーは2着も必要ないのでは。

(意見) 心配なところは、金額的な問題、買い替えの問題。

(意見) 制服があった方が、長期的なランニングコスト、華美な服装への心配などが無い。体の成長ももちろんあるが、ズボン・スカートであれば、高いというイメージはない。中学校の制服に比べたら、そんなに高くはなかったと思う。

(意見) 現在通っている子はどうするのかの対応も気になるところでは。

(意見) 制服の方が着ていく服を悩まなくていい(メリット)。経過措置については、検討しないといけない。

(意見) 制服が何万もするようなら、兄弟多いところは大変になる。

(意見) 最初からするのではなく、ある学年になったら制服に替わるパターンも。制服2着は必要になる(雨で濡れた時、洗い替え、破ってきた時のために)。中に着るシャツ、スカート・ズボンは予備が必要。

(意見) 私服であれば、学校以外でも着ることはできる。

(意見) 通学時の事も考えて制服導入を考えている。

(意見) 色々な判断材料・金額も含めて、制服を導入すると言うところで、メリットの方が上回ると判断した。この点については、検討委員会として変わらない。金額等も判断材料になるので、再度提示が必要。

③ 一般的な制服と私服の費用

(ア) 現在の中学校制服平均単価(サイズによって価格が異なる場合あり)

		有浦中学校(瀧本)	値賀中学校(富士ヨット)
男子	冬用上着		
	冬用ズボン		
	夏用シャツ		
	夏用ズボン		
	合計		
女子	冬用セーラー服		
	冬用スカート		
	夏用セーラー服		
	夏用スカート		

(イ)小学校の制服参考単価

		七山小学校	浜崎小学校	明治学園(私立)	敬愛小学校(私立)
男子	冬服				
	夏服				
	合計				
女子	冬服				
	夏服				
	合計				

(ウ)1世帯あたり、子供服(小学生まで)の年間支出費用(総務省 H24 家計調査より)

	年間支出額
子供服	39,380 円
子供用シャツ・セーター類	3,071 円
合計	42,451 円

※世帯の前提として、平均 3.09 人世帯、世帯主年齢 46.4 歳、平均年間収入 4,330 千円未満の官民勤労世帯。個人経営・無職は除く

※子供服は、オーバー、ジャンパー、ワンピース、ズボン、スカート、小学校等制定の上着・ズボン・スカート・スモック等を含む

※子供用シャツ・セーター類は、ワイシャツ、ブラウス、ベスト、Tシャツ、小学校等制定のブラウス・ワイシャツ・セーター等を含む

④制服のリサイクル

(ア)品川区立小中一貫校日野学園

(a)制服の内容

制服の内容	1～4年	5～7年	8～9年
ブレザー	学校エンブレム付ブレザー		
インナー	ポロシャツ	Yシャツ/ブラウス	Yシャツ/ブラウス
ネクタイ・リボン	なし	指定ネクタイ/リボン	指定ネクタイ/リボン
ズボン・スカート	半ズボン/プリーツスカート	スラックス/プリーツスカート	スラックス/プリーツスカート
靴下	ハイソックス	ソックス/ハイソックス	ソックス/ハイソックス
体操服	半袖シャツ・半ズボン		

(b)リユース：上記表の着色部分がリユース可能な制服

PTA が制服の回収と提供を実施。

【回収時の注意事項】

- 自宅での洗濯・クリーニングが済んでいるもの。
- ボタンが取れていても構わない。また、ボタンのみ回収も受け付けている。
- 体操着のネームは、つけたままでも構わない。
- シミや傷みがあるものでも構わない。

(c)その他：「一〇式（いちまるしき）」

一〇とは 10 歳を意味し、次年度から制服が変わる 4 年生の成長を全校で祝う。  
式では、4 年生ひとりひとりに上級生からネクタイ・リボンが贈られる。

1～4 年冬服      夏服                      5～9 年冬服      夏服



(イ)他校のリユース

(a)赤穂中学校：PTA が不要となった制服やジャージを集め、再販。

卒業生や保護者から服の無償提供を受け、品質に応じた値段で販売。価格は、冬用ブレザー1,000 円、ズボン 800 円など。売り上げは図書購入費用として、学校へ寄付。

(b)大口中学校：平成 20 年 4 月統合開校。

PTA 事業として実施。制服等をリユースすることで、経済的な負担軽減を目指すとともに、環境に優しい社会の実現に貢献するため。制服から体操服までをリユースし、販売。

(c)みやき町立中原小学校：PTA 事業として実施。

1 学期と 2 学期に制服の回収と販売を実施。売り上げは PTA 会費として使用。

⑤協議内容

(a)全学年に導入することを前提に検討していくことでよろしいですか。

(b)今後の協議項目として、次の内容が考えられますが、他にあれば挙げてください。

●全学年制服とするか、全学年標準服とするか、制服と標準服の共存とするか

・制服の定義：着用する服装を定め、定められた服のみしか着用できない。

・標準服の定義：基準となる服装を定め、その服装に準じた服を着用してよい。

●全学年同一デザインとするか、学年区分毎のデザインとするか、小中学生で分けたデザインとするか

●制服等の一着あたりの希望金額

●制服等の製作条件(男女兼用、家庭での洗濯可能、伸縮が可能など)

●現行制服を着用している学年の取扱い

●制服等の選定手順

(c)「このような形がいい」とか「このような機能があってほしい」など制服・標準服に対する意見を挙げてください。⇒別紙学校の制服例を参照(当日配布)

## 1－4年 制服・体育着・上履きについて

	1－4年用	説 明
男子用ブレザー 女子用ブレザー	学校指定のブレザー	通学用に毎日着用（夏季は除く）
半ズボンスカート	学校指定のズボンとスカート	女子の半ズボンは可能
靴下	紺のハイソックス	指定はない
シャツ等	白のポロシャツ	指定はない
ネクタイ・リボン		
ベスト・セーター	黒、紺、白	指定はない
コート	黒、紺、茶、白、グレーなどの華美でないもの	指定はない
体操着上下	学校指定	半袖シャツ、半ズボンとも、個人ネーム入り
上履き	白い運動靴	指定はない
体育館履き	白い運動靴	マジックテープか紐でしばれるもの
帽子	学校指定	通学用に毎日着用、ただし、1年生は1学期間は黄色い帽子をかぶる。
紅白帽子	つばあり	
通学用の靴	指定なし	

## 5－9年 制服・体育着・上履きについて

	5－9年用	説 明
男子用ブレザー 女子用ブレザー	学校指定のブレザー	通学用に毎日着用（夏季は除く）
ズボン、スカート	学校指定のズボンとスカート	スカートは、ひざにかかる程度
靴下	女子は紺のハイソックス、男子は白の標準的なソックス	男子のくるぶしソックスは、認めない。
シャツ等	男子・女子ともに白ワイシャツ。	
ネクタイ・リボン	学校指定のネクタイ・リボン	
ベスト・セーター	学校指定、許可を受けたもの	
コート	黒、紺、茶、グレーなどの華美でないもの	ベンチコート類は認めない
ジャージ上下	学校指定	個人のネーム入り
体操着上下	学校指定	半袖シャツ、半ズボンとも、個人ネーム入り
上履き	7－9年生は、色指定がある	5・6年は白い運動靴 必ず名前を書く
体育館履き	学校指定	名前を書く
通学用の靴	運動靴または黒・茶の革靴	制服に合った派手、華美ではないもの 体育の授業は必ず運動靴

(2)校歌作成について

①有徳小学校の校歌制作

(ア)歌詞制作時期

平成 21 年 9 月～平成 22 年 2 月

(イ)歌詞制作者

当時の有浦小学校松永校長、牟形小学校岩崎校長、仮屋小学校吉田校長

(ウ)作曲時期

平成 21 年 9 月～平成 22 年 2 月

(エ)作曲者・編曲者

作曲は当時の有浦小学校教諭 山下先生、編曲は森川律子氏

②他校の校歌制作状況

学校名	作詞	作曲
三条市立嵐南小学校 (統合、小中一貫校)	・作詞作曲をシンガーソングライター(川嶋あい)に依頼。	
練馬区大泉桜学園 (小中一貫校、1～9年)	・子どもたちを対象に校歌に入れたい言葉を募集。 ・推進委員会で検討。 ・推進委員会の意見や募集内容を作詞家(村田さちこ)に伝え、依頼。	・作曲は作曲家(西澤健治)に依頼。
高松市高松第一学園 (統合、小中一貫、1～9年)	・子どもたちから校歌に用いる言葉のアイデア募集。 ・高松第一高音楽科教諭と統合小中校 5校の先生でチーム編成、歌詞を作成。	・高松第一高音楽科教諭に依頼。
足立区立千寿小学校 (統合新設)	・歌詞及び歌詞のフレーズを募集。 ・応募された歌詞や言葉を基に、校歌選定委員会が選定し創りあげる。	・作曲は作曲家(椎名豊)に依頼。
福岡市立住吉小学校 (統合新設)	・歌詞のキーワードを子ども・保護者・地域より集める。 ・残したい言葉や願いの言葉を整理し、校長会が歌詞を構成し、最終的な監修を行う。	・校歌の作曲は福岡教育大学教授に依頼。
中野区立南中野中学校 (統合新設)	・子ども・保護者・関係者より歌詞(言葉)を募集。 ・集まった歌詞(言葉)を参考に作詞を作家(林望)に依頼。	・作曲は作曲家(佐藤眞)に依頼。

傾向として、作詞は、子ども・保護者・住民より言葉を募集し、それを基に歌詞を作成。作曲は、専門家に依頼している。

③当初の予定

	期限	H25 年度				H26 年度												
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
校歌	H26.12							●	—	—	—	—	—	—	▲	●	★	

(ア)校名決定後、校歌の制作方法について協議

(イ)校歌制作

(ウ)各学校での練習時間を確保し、H26 年 12 月を目途に制作完了

⇒作詞、作曲の両方を行うこととなれば、時間的な余裕がないのでは？

④今後の協議内容(案)

次回会議にて「どのように校歌を制作していくのか」を協議する必要があります。

そのため、協議する項目・内容(案)は次の通りです。他にあれば挙げてください。

また、どんな校歌にしたいのか、ご意見をお願いします。

(ア)いつまでに校歌を制作する必要があるか。子どもたちの練習期間はどのくらい必要か。

(イ)新しい校歌を制作するか、既存校の校歌を手直しして制作するか。

- ・校歌には、広義として学校にまつわる歌（応援歌、学園歌等）も校歌といえるが、最もその学校を代表するに相応しい歌を「校歌」と称しているのが一般的。

- ・現行法令上、学校設置要件として校歌を設置する義務はないが、慣習的に、同じ学び場の中で目的の一つとして学習に励むものの心の繋がりを高めるために設置している。

(ウ)1 年～9 年まで(小中)同じ校歌とするか、小学校と中学校で分けるか、学年区分で分けるか。

(エ)作詞は、誰が行うか。

- ・各小中学校の子どもたちに作詞を依頼するか。(1 番を有徳小、2 番を値賀小…)

- ・音楽家等に依頼するか。

- ・音楽教員で作詞に長けた方に依頼するか。

- ・町民又は町にゆかりのある方に作詞を依頼するか。

- ・子どもや保護者、町民の思いを募集するか。

- ・作詞制作チームを結成するか。

(オ)作曲は、誰が行うか。

- ・高校や音楽科を有する大学等を利用して、作曲するか。

- ・音楽教員で作曲に長けた方に依頼するか。

- ・音楽家等に依頼するか。

- ・作曲制作チームを結成するか。

- ・町民又は町にゆかりのある方に作曲を依頼するか。

- ・作曲を募集するか。

(カ)詩はどのような内容にするか。

- ・学校の所在地周辺の自然や地理、風土、歴史、具体的な地名などを取り入れるか。
- ・学校の標語や校訓、教育理念、校風などを表現するか。
- ・社会や未来への貢献、モットーやスローガンを掲げるか。
- ・学校名を入れるか。